



**ケータイ・スマホ
夜10時電源OFF運動**

脱・深夜ケータイ・スマホ宣言

ケータイ・スマホなどの情報機器による
犯罪やトラブルから 子どもたちを守るのは 私たち大人の役目です

ケータイモラルアップ

現在、スマートフォンの普及に伴つて、未成年が巻き込まれるネットのトラブルが増加する一方で、フィルタリングの普及率は低下しています。これは、未成年によるスマートフォン利用に潜む危険性を保護者が正しく理解できていないために、子どもたちからのフィルタリング解除の申し出に安易に応じてしまつていることが主な原因であると思われます。

その為、このような安易なフィルタリング解除に応じないように保護者の皆様への啓発活動が急務である

その為、このよつな安易なファイルタリング解除に応じないよつに保護者の皆様への啓発活動が急務であると思われます。

その他、「情報セラル教育」「家庭でのルール作り」「ペアレンタル」「ソーシャル」「スマート」「スマート」「スマート」などケータイ・スマートなどの利用に関して、保護者としてやるべきことが明確になってきております。

そこで、福岡市PTA協議会では、福岡市教育委員会と力を合わせ、子どもたちの健全育成を願い、「ケータイスマホ夜10時電源OFF運動」に取り組むことで、子どもたちの安全を守るために第一歩を踏み出したとして考えておられます。今年の8月に開催されました「福岡市じじめゼロサミット2014」において、児童・生徒からも、「深夜の携帯・スマホによつて、じじめが発生する」と



今や、生活のツールとして、ケータイ・スマホが普及する中、子どもたち同士のトラブルを防ぎ、ネットいじめや悲惨な事件等の発生を防ぐために、我々保護者ができることを確実に行つてほしいというが、重要なこと思います。

明日の社会を担う子どもたちが生き抜く力を身につけ、健やかに成長し、社会で活躍できる人材となることが我々保護者の共通の願いであります。なにとぞ、皆様のご理解、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

・地域と連携した学校・PTAとするための福岡市教育委員会とのより積極的な事業連携、相互交流、PTA活動を推進していただきたい。

1 単位PTAがより一層の充実した活動を展開していくための支援施策を図られたい。

2 学校教育内容のより一層の充実を図られたい。

だきたい。

6 児童・生徒の安全確保及び危機管理のための施策をより充実されたい。

・不審者の侵入を未然に防ぐためのセンサー・ライトや、不審者が侵入した際に早急に職員室などに知らせることのできるインターホンなどの設置をお願いしたい。

・学校における不審者侵入を防止するため警備会社による定期的な巡回警備や常駐警備員の配置をお願いしたい。

TAのさらなる充実を図るため、小・中特別支援学校の意見をもとに教育問題委員会で討議、検討し、理事会の承認を得て、平成27年度教育予算要望書を作成し、福岡市PTA協議会日高政治会長より、福岡市教委員会酒井龍彦教育長に提出しました。その中で、今年度の新たな課題に対する要望について紹介します。



4 特別支援教育条件整備のための施策の充実を図りたい。

教育予算要望書提出

TAのさらなる充実 教育環境改善とP



4 特別支援
施策の充実

平成26年7月23日



三P協連絡協議会（福岡県PTA連合会、北九州市PTA協議会、福岡市PTA協議会）による連絡協議会研修会を開催しました。

研修Iとして、今年開校した、舞鶴小・中学校の施設訪問を行いました。子どもたちの学びの場として、環境の配慮はもちろること、子どもたちの学習活動の場としては素晴らしいものでした。

伝統ある3つの学校がひとつになることでの対策や小学校、中学校が、施設・貴重型なので、常に会話ができ、共有できるものが多い、先生方も連携することができるところでした。その後、場所を健康づくりサポートセンターに移し、研修会を行いました。

■福岡県PTA連合会は「単Pに近い県Pを目指して」のスローガンで各委員会等の活動が活発に行われていました。

■北九州市PTA協議会は、年間事業計画を全体事業と継続活動で行われている「ケータイ・スマート10時電源OFF運動」にスポットをおいての活動報告でした。

■福岡市PTA協議会は、PTAの果たす役割から始まり、4つの活動領域、ネット被害のことから、親も学ぶ子ども自ら学ぶことが大事、運営方法をPDCAを使って目的、サイクルの説明が行われました。



平成26年7月4日
舞鶴小・中学校 健康づくりサポートセンター

平成26年7月4日
舞鶴小・中学校 健康づくりサポートセンター

第70回 指定都市PTA情報交換会 京都大会

小学校・中学校・特別支援学校PTA会長研修会

平成26年度 福岡市PTA協議会

13都市の出会い・ふれあい・学びあい

おこしやす京都 出会い

ふれあい 学びあい
子どもたちのかけがえのない今と未来のために

第70回といつ節目の大会が歴史ある京都で開催されました。

1日目は開会行事が行われ、多忙の中、門川京都市長の挨拶で始まりました。

分科会では

第1分科会（組織・運営）

「これから指定都市PTAのあり方と方向性」

第2分科会（研修・研究活動）

「指定都市における『スマート情報端末』への取組について」

第3分科会（地域連携）

「全市レベル 地域レベルでの連携でPTA活動の発展を考える」

第4分科会（広報活動）

「指定都市PTA活動の発展を考える」



「We are シンセキ!
We are PTA!!」
掛け声でレモンの被り物で登場の山本氏

と各テーマに基づき、13都市（札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・川崎市・横浜市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・広島市・北九州市・福岡市の代表の方々の活発な意見交換が行われました。

2日目の全体会では各分科会報告後、基調講演で講師 フジオ DJ 山本 シュウ氏 演題「地域の絆と親子のコミュニケーション力アップ」～We are シンセキ We are PTA～が行われました。



福岡市PTA協議会は、PTAの果たす役割から始まり、4つの活動領域、ネット被害のことから、親も学ぶ子ども自ら学ぶことが大事、運営方法をPDCAを使って目的、サイクルの説明が行われました。

意見交換会では、「ケータイ・スマート10時電源OFF運動」について、今後、福岡県全体のPTAの取組とする方針を確認し、情報交換会に移りました。

いまこそ高めよう
親子の「ミニユニークーション」
子どもの夢や志を高めるのは親次第

担当副会長交流会

福岡市PTA協議会主催

「プロから学んだ語りく
伝えること、語ることの大切さ
「伝える」ということ」

平成26年9月9日 福岡国際会議場

平成26年度小学校・中学校・特別支援学校の担当副会長約100名が参加し交流会が行われました。

RKB毎日放送の元アナウンサー現報道制作センター局次長の安田瑞代氏より「伝える」ということ」という演題で講演頂きました。

アナウンサーという仕事をしながらの子育ては並たいていのことではなかつたこと。子どもを育てながらの仕事もをしていく事が親の責任と涙しながら語られました。

今回の指定都市大会では、たくさん学びを頂きました。

「福岡は一つ」をモットーに頑張つて行こうと閉会しました。

は、家族の協力を得て子育てを乗り越えていったられたとのこと。

強調して伝えたい時は、一瞬、間をあけて気持ちを込めて話す

緊張しないようにありかじめ充分な準備をしておく

話の途中で頭の中が真っ白になつても慌てず、落ち着いて話す

話すより聞く事がとても大事なことのことでした。

今では、自分が伝えたい事を、美しい日本語、きれいな言葉、「元気」になる言葉で正確に伝えられるように、RKBお話アカデミーにおいて、子ども達に言葉の大切さ、朗読の技術を教えて続けていらっしゃいます。

人前で話す機会が多くある担当副会長にとって有意義な会となりました。

キヤツツ 親子鑑賞

歩足を踏み入れるや
いなや、まるで自分が
猫のサイズになつた
という錯覚を覚えま
す。そして始まる、24
匹の猫たちによる、
圧倒的なパフォーマ
ンスが繰り広げられ
ました。



摄影者:荒井健

いかそう！ 読者の声

117号モニターアンケートより

■苦しいイメージがあつたが、スッキリとして判りやすく、興味をもつてじっくり読めた。

■ノーメディアアンケートについて、教師・保護者両面の視点を知ることができよかったです。

■研修会や講演会のアンケートの声も載せると更に良い紙面になるのではないかと思います。

■参加できなかつた研修・講演会も紙面で判り易く伝わったのでよかったです。

■色使い等の工夫がされており、目に優しくて読みやすい

- 来年度の九P福岡市大会に向けての内容を多く載せることで、保護者の理解と意識も高まり、参加者も多くなるのではないかでしょうか。
- 各区の思いが突破口に現れ、笑顔の良い写真が多くて良い。
- モニターアンケートでの声が届き、より良い紙面になるようになればと思います。
- 少し紙面的にこぢんちやしているように感じました。
- 福岡市PTA協議会の組織な

- 読者も一員と感じられる、親しみのある新聞を楽しみにしています。
- 12年間手元に届いていた『こう』も残り2号となりました。
- 委員さんたちの写真もり、それぞれの方のやる気溌々と笑顔が親しみを感じてかかった。
- 親子ふれあい週間アンケートなど、更に分析するところもいろいろでは…。

児童・生徒の感想

は育ち盛りの時期でもあり、その傾向が強いくつです。これは、以前の結果と比べてみると、ナビモが朝食を食べる習慣は身に付いてしまったようと思われます。朝ごはんに対する大事な役割があります。

①体温を上げて眠っていた体を「起」す働き。

②体と頭にエネルギーを補給する働き。

③体調を整える働き。

今後は、朝ごはんを食べる習慣化から、バランスのとれた食事の内容についてもお手伝いしてほしいかと思います。

.....

- ・メール等でも
出率が上がり
- ・アンケート結
きのよつ準備
- ・前回のアンケ
タ

おり、意識の
増えたものと
記録用紙の提

講じたといふ點であら。

感想

早起きできる方法を親子で話し合
い取り組んで下さい。又、劇団四季
のご協力によりキャラツツ掲載の許
可と写真を頂きました。広報委員

研修委員会です！私たち研修委員会は主に一つの活動を行っています。

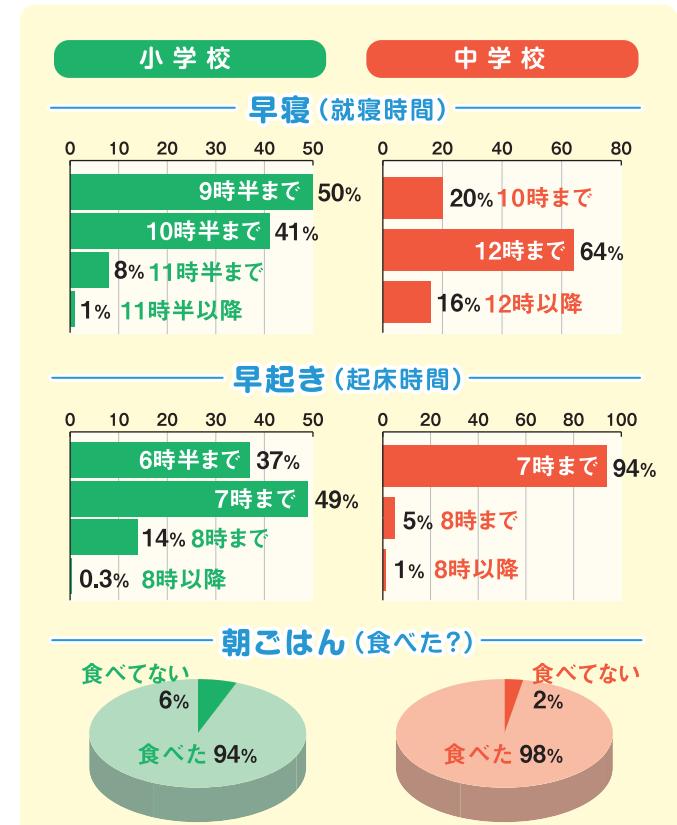
①市・協主催のPTA啓発研修大会の企画・実施運営

②「早寝・早起き・朝ごはん」「ノーメディア・チャレンジ」等のアンケート実施

今回は、夏休み明けの9月に実施された「早寝・早起き・朝ごはん」のアンケート結果

難しいのかもしません。アンケートから浮かび上がった傾向を基に家庭内で話し合いをしていただけたら幸いです。

小学生は、9時半以



- ・相変わらぬだめじた。
- ・ゲームの時間が少し減つた。
- ・受験に向けて朝型の生活に改善していくたい。
- ・照れた。

保護者の感想

西区...元岡中
竹下美代子
早良区...原北中
綿貫七恵
南区...花畠中
岩津直保子★

天候による講演会の
中止・延期について
お知らせ

今年は台風の影響により予定され
ていた講演会が相次いで中止になり、
大変ご迷惑をおかけしました。福岡
市P.T.A.では、万の事態に備え、早め
の方策をとるようになっております。
「Stopザ非行 講演会」は、27年
2月22日再開催の予定です。
(詳細は後日お知らせします。)

ふよう 118号発行にあたり、早寝早起き朝ごはんとSTOPザ非行が台風により講演会が中止となり、とまどいがありました。研修委員のご協力により、早寝早起きの集計結果を掲載する事ができました。名ご家庭におかれまして、早起きできる方法を親子で話し合ひ取り組んで下さい。又、劇団四季のご協力によりキヤツツ掲載の許可と写真を頂きました。広報委員が代わり最初の掲載でじきじきでしたが皆様のご協力により無事に発行できました。119号と120号でも九P福岡市大会に向けての活動報告を連載して行きたいと思いますので、次回もどうぞお楽しみに!

広報委員紹介